みんなで守る
地域の未来Project
2022
2学期
7月～10月号

Save Our Future News

発行者
愛媛県立松山工業高等学校
防災リーダー・グローバルスタディー
〒790－0021
愛媛県松山市真砂町1番地
TEL089－931－8195
e-mail:matsuyamath@gmail.com

えひめSDGs甲子園 グランプリ受賞!!

8月23日（火）に、松山市青少年センターで開催されたえひめSDGs甲子園最終発表会において、本校のチームSave Our Futurの「Card Game de BOUSAI」が見事グランプリを受賞しました。

小中学生→保護者→高齢者
防災の意識が変わる!!

▼

地域の絆と
地域の防災力向上を目指す
ことができる!!

カードゲームのコンセプト

今回取り組んだカードゲームの作成ですが、小中学校の出前授業において、一緒に楽しく防災について考えながらマイ・タイムラインが簡単に作成できればいいなというアイデアから生まれました。作成したカードゲームを活用して、高校生がファシリテータとなり「防災の大切さや避難手順、防災マップ等の活用」などを、地域のイベントや小中学校での出前授業で実施すれば、地域の防災力が向上するのではと考えていますではそのカードゲームのコンセプトは、次の3つです。

①防災啓発活動及び意識調査
防災の大切さを啓発するとともに防災に関する意識調査を実施

②高校との交流
防災ゲーム等で啓発活動を行っている全国の高校生との交流を企画

③大学生・防災士会との交流
カードゲームを開発している大学生や防災士会の方々からアドバイスをいただく

④行政との協働活動
マイ・タイムラインについて学ぶために

⑤カードゲーム体験
カードゲームについて知るために

⑥出前授業
防災授業の実施と授業への導入の可能性を考える

カードゲーム作成のコンセプトは３つ

1. **誰でも楽しくゆる～く参加できる!!**
   ★防災はめんどくさい、かたぐるしいを変えたい!!
2. **誰もが分かりやすい**
   ★防災は、難しいを変えたい!!
3. **オンラインでも実施ができる!!**
   ★オンラインを活用してコロナ禍でもつながりたい!!

取組を行いながらカードゲームを作成しました。

7月下旬には、オンライン防災グループの開発した、避難所運営ゲームの感染症バージョンのカードゲーム体験会にも参加しました。この体験会では、愛媛大学や県立医療技術大学の学生さんと一緒にワークショップを体験し、カードゲームの開発についての話をいろいろ聞かせていただきました。そこで、「ルールをあまり複雑にしないこと、防災に取り組んでいる人だけでなく、初心者や関心のない人にも少しずつ話や試行を行いながら進めて行くのが良い」とのアドバイスをいただきました。また、様々なカードゲームのワークショップを行いながらゲームのルールや流れ、参加者に伝えなければならないことなどを研究しました。

また、このカードゲームを作成するために6つの取組を行いました!!

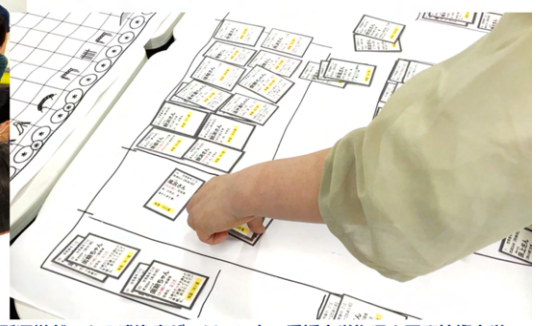
前回の新聞でも紹介したようにイベントに参加し、意識調査や県外高校生大学生交流を行い、さらに、6月下旬から8月下旬にかけて、大学生や防災士会の方々との交流や出前授業など様々な

出前授業 湯山中

7月の4日・5日の二日間、防災出前授業を湯山中学校で実施しました。4日は、5時間目の1時間を活用し、防災クイズで避難について知ろう!!と題して、簡単なクイズを行いながら地域の危険や災害、避難について考えました。ファシリテーター役は、土木科1年の細川さくらさんと阿達陽那乃さんが行いました。リラックスした感じで楽しく授業運営ができていました。生徒の反応もよく身近な災害や避難についていろいろな意見が出てすばらしい授業になりました。

大学生や各防災士会との交流

（避難所運営カードゲーム感染症バージョン体験）



オンライン防災グループの開発した、避難所運営ゲームの感染症バージョンを、愛媛大学や県立医療技術大学の学生さんと一緒に体験し、開発についての話を聞かせていただきました。

5日は、一日目の内容を踏まえて、実際に避難について詳しく取り上げ、その中でマイ・タイムラインを一緒に作成しました。

当日は、一人一台PCを活用し、ハザードマップを見たり、各種災害情報を見たりすることで多くの情報に触れながら楽しくマイ・タイムラインを完成することができました。参加した中学生は、避難の方法やタイミングは、家庭の事情や住んでいる場所などによって違うことが分かった、高校生と一緒に勉強できて楽しかった。などの意見や感想をたくさんいただきました。本当にありがとうございました。

作成の様子

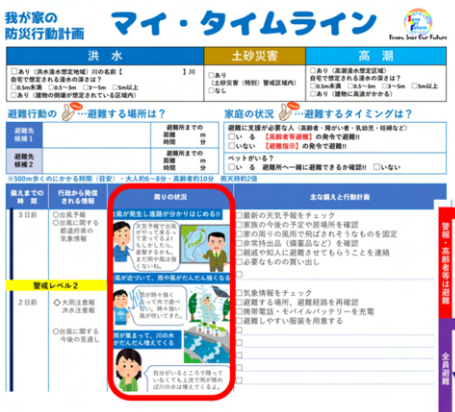
湯山中学校出前授業（１日目防災クイズ）

１年生の総合的な探究の時間を１時間、高校生のみで防災の授業を担当させていただきました。

3つのバージョン

今回作成したマイ・タイムラインは全部で3つ初心者用（小中学校のチェック式と中級者用の記述式、そしてカードゲーム用ですどのバージョンも、周りの状況が分かりやすくイラストで示されています。

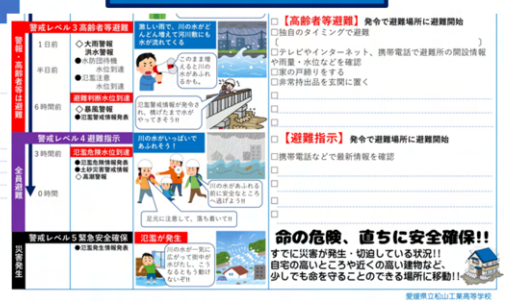
中級者用



初心者（小中学生）用

中学生にも、周りの状況が分かりやすくするために「周りの状況欄」を作り、挿絵とコメントを入れた

小・中学校用バージョン



カードゲームの流れは次のとおりです。

①行政からの発信情報が与えられます。

②周りの状況カードをめくります。

③この状況に合わせて手持ちの行動カードの中から適切な行動カードを班で話し合い選んで置きます。

④これを災害発生時まで行い、いつ、どこへ、誰と、どのように避難するかなどを班で考えていきます。

※一班3～5人組で何班でも作ることができ、家族構成や各地域の危険度を異なる設定にすることもできます。

また、班ごとに発信情報（警報の出し方）や状況カードの出し方も変えることができます。

中学生の意見を導入

中学生や先生にも協力していただき、防災リーダーも含め何度も試行を行いながら開発を進めていきましたその中で、中学生から「周りの状況カードの危険度が分かりにくいその意見をもらい、カードの下側に風水害バロメーターを付けることにしましたこれにより、現在の状況が一目で分かり、何をしなければならないか考えるための一助になりますまたかりにくいとの意見もいただき、ふりがなや解説を加えました。

カードゲーム用

発信情報・周りの状況・主な備えと行動計画欄にカードを置くことができる（A0・A1判）

カードゲームバージョン

カードは一人一台PCを活用してPower Pointで作成!!
カラー印刷でリアル感を!!

状況カードには、風水害バロメーターを入れ、現在の危険度を分かりやすくした（中学生の要望）

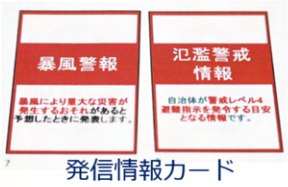
A0シート用　A1シート用

カードについては、メンバーで手分けをして一人一台PCを活用（パワーポイント）として作成しましたまた、よりリアル感を出すために、カラー印刷を行い、A0用とA1用の2種類のカードを用意しています。

カードゲームの構成は、A0及びA1のシート、発信情報カード、周りの状況カード、主な備えと行動カード、班ごとに異なるハザードマップ、班ごとに異なる家族構成カード、そして専用のプレゼン資料となりますこの教材一式でマイ・タイムラインを作成できるという構成です

作成したマイ・タイムラインカードゲームの構成

A1のワークシート

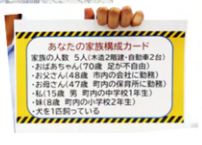


発信情報カード

主な備えと行動カード

周りの状況カード

班ごとに異なるハザードマップ



班ごとに異なる家族構成カード

湯山中学校の生徒と先生にも試行していただいた!!

挿絵や状況カードの表現、シートやカードの大きさ、授業での活用方法について話を聞きました!!

ルールやゲームの流れを何度も試行を繰り返し決定

オンラインゲームも同時開発

マイ・タイムラインカードゲームの他に、オンラインでできる防災神経衰弱「何が起こるかな」も同時に開発しましたウドナリウムというプラットホームを用いたオンラインゲームで、インターネット環境があればだれでも参加できますまだ課題はありますが、Zoomで会話をしながらワークショップ形式でゲームが楽しめます。

オンラインゲーム開発の様子

今後の課題と活動

今回、SDGs甲子園でグランプリをいただきましたが、この取組はまだまだ続きます。

カードゲームをよりよいものにするために、多くの方々に使っていただきブラッシュアップしていきたいですそして、出前授業や防災イベント、総合的な探究の時間等で活用できる「誰でも使えるワークショップ教材に発展させたいと考えています。

また、現在、点（一校）で行っている活動も多く、これを高校の枠を超えた線（二校）や面（三校以上）にする活動へ発展させたいと思います。

みなさんも、この活動に参加してみてください。

この新聞を見てくれている小中高校生、大学生の皆さん、地域の皆さん、一緒にコラボしませんか？お待ちしています!!

11 住み続けられるまちづくりを